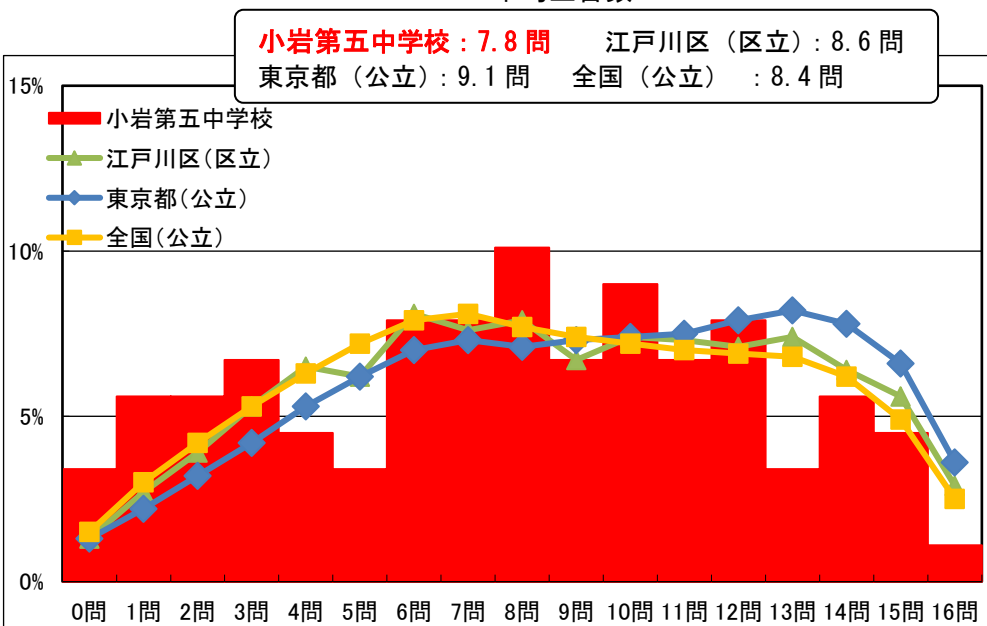


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 小岩第五中学校

正答数分布

平均正答数

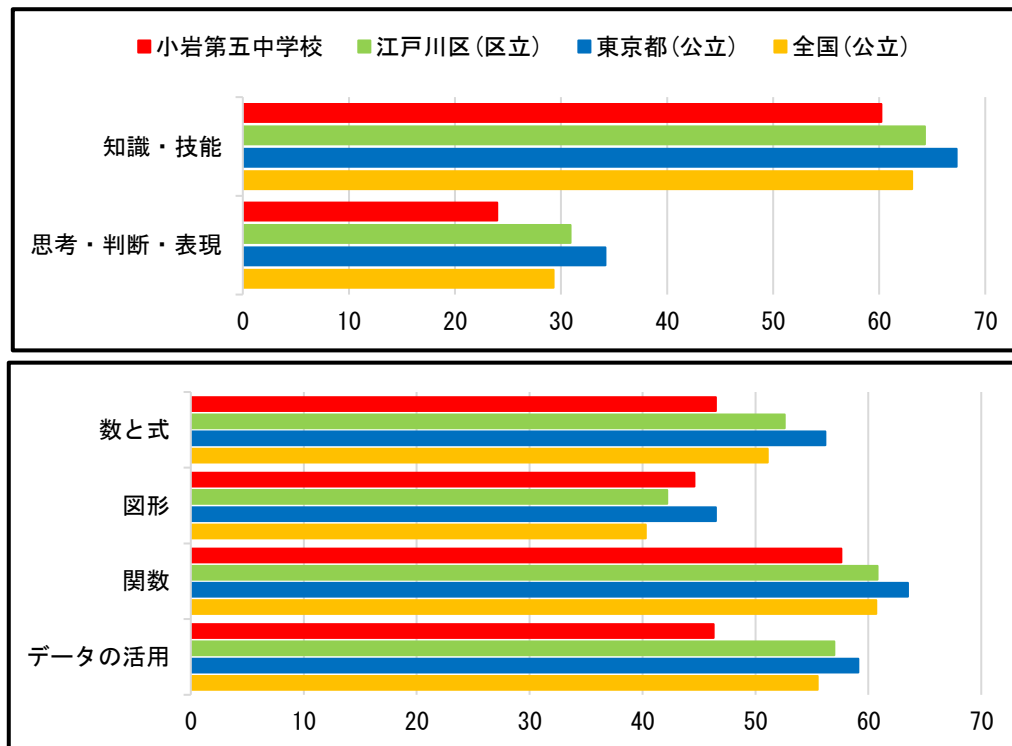


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

| 数 学 | 上 位 ← 下 位 | | | |
|----------|--------------|-------------|------------|------------|
| | A層 13~16問 | B層 9~12問 | C層 6~8問 | D層 0~5問 |
| 小岩第五中学校 | 14.6 | 30.3 | 25.9 | 29.2 |
| 江戸川区(区立) | 22.3 | 28.5 | 23.6 | 25.6 |
| 東京都(公立) | 26.2 | 30.1 | 21.4 | 22.3 |
| 全国(公立) | 20.4 | 28.5 | 23.7 | 27.4 |

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

| | |
|----------|-------|
| 小岩第五中学校 | 49% |
| 江戸川区(区立) | 54% |
| 東京都(公立) | 57% |
| 全国(公立) | 52.5% |
| 都との差 | 8ポイント |

【分析結果と授業改善に向けて】

東京都の平均とは10ポイント近く差があるが、特に思考の分野に大きく課題がある。記述解答の問いに対して無解答の割合が高い。反面、合同の証明の問いの正答率が高いため、自由度のある問題に苦手意識があると考えられる。合同の証明のように型を決められる問いを穴埋め形式から始め、徐々に記述の量を増やしていく。